

単元名 学しゅうの まとめ

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 一字一字の字形を整えて、正しく書くことができる。
 (3) 1年間の学習を振り返り、始筆や送筆、終筆に気を付けて、丁寧に書こうとする。

標準的な展開例

01020302_001

【教材名】きょうだいは… (P. 40～P. 44)

【準備等】拡大文字、教科書の拡大図版

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 1年間の学習を振り返って文字を書く。 ★学習したことを思い出して書こう ○『くつ』～『子犬』を書く。</p> <p>○自分の名前を書く。</p> <p>○『きょうだいは…』を試し書きする。 ○試し書きの「とめ」「はね」「はらい」などを確かめる</p> <p>○『きょうだいは…』をまとめ書きし、達成度を確かめる</p> <p>○国語の教科書から書きたい文章を選んで書く。</p> <p>3 漢字の成り立ちを知り、文字に対する興味・関心を高める。 ★どんな漢字になるか考えてみよう ○漢字の成り立ちを知る。</p> <p>○学習した漢字を使い、言葉や文を作って書く。</p> <p>○書いたものを紹介し合い、発表する。</p> <p>4 第1学年で学習した漢字を書く。 ★第1学年で学習した漢字を正しく書こう ○書き順の決まり、送筆や終筆の書き方、文字の概形を確かめる。 ○観点に合わせて文字を選んで書く。</p> <p>○漢字を使って言葉や短文を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よい姿勢・持ち方を確認する。 ・平仮名、片仮名、漢字を書くときに注意する点画を確かめる。 ・教科書P. 40の名前記入欄と同じものを用意する。 ・P. 7 で書いたものと比べさせてもよい。 ・教科書P. 40に列挙されている観点に絞って修正できるようにする。 【評】作品を通して、始筆、送筆、終筆に関する「知識・技能」を評価する。 ・文章を二人もしくは数人で交代して書くという方法もある。自分がどのような文字を書いているか客観的に見たり、全体のまとまりを考えたりするのに有効である。 ・教科書P. 43の絵を見て、何の絵か発表させる ・国語の学習でも漢字の成り立ちを2学期に扱っているので、未習の漢字を提示することも児童の興味を引き付けるよい方法である。 【評】言葉や文を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・よいところを認め合うようにさせる。 ・「とめ」「はね」「はらい」「折れ」「曲がり」「そり」など、観点を示して文字を選ばせる。 ・ただ自由に書く時間にならないよう、書き順・終筆・送筆に気を付けて書くように声を掛ける。 【評】作品を通して、字形に関する「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】